

国際ロータリー第2620地区
静岡第5グループ



POWER HAMAMATSU
ROTARY CLUB
JAPAN

週報 パワー浜松ロータリークラブ

クルクルまわそうロータリー

RI 会長 ジェニファー・ジョーンズ/第 2620 地区ガバナー 浅原諒蔵 /会長 加藤ひとみ /幹事 高部光司
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立: 2002 年 10 月 22 日 認証伝達式: 2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ: 浜松中 R C



イマジン
ロータリー



第901回例会7月12日(火)AM7:30~8:30

- 会場: オークラクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会: 内田勝善 匂坂幸治 ■点鐘: 加藤ひとみ ■週報: 村木則予
- ロータリーソング: 「夢のみずうみ」(※音楽のみ)
- ゲスト: 国際ロータリー第 2620 地区 2022-23 年度ガバナー補佐 坂田茂様
同上 事務局長 上田昌弘様
米山記念奨学生 陳俊達さん/例会見学者 服部和伸様

出席報告/スマイル報告

会員数 75 名 (内出席免除会員 3 名)
出席数 59 名 出席率 81.94%

スマイル提出者氏名掲載
加藤ひとみ会長、高部幹事

会長挨拶



おはようございます。

新年度開始早々ですが、安倍元総理が遊説中に撃たれてお亡くなりになるという物騒な出来事があり、また、コロナの感染拡大も看過できない状況になりつつあります。またまた休会という事態もあり得ますが、感染対策をしっかりと何とかな例会が続けられることを祈るばかりです。

本日は、カバナー補佐の坂田茂様、事務局局長の上田昌弘様、朝早くからご足労頂きありがとうございます。

さて、本日は、事業計画書について若干の説明をさせていただきます。

予算書ですが、実質 170 万円の赤字予算となっていました。このままいくと 5 年程度で繰越金が無くなってしまい、委員会の活動、例会ができないという事態に陥ることとなります。

この現状を何とかしなくてはならないと思いますが、一番の方法は収入を増やすこと、すなわち会員の増強をすることです。高木委員長にもお願いしましたが、皆様ぜひ新しい会員の加入にご協力をお願いいたします。

また、スマイル基金ですが、主に補助金事業の財源として使われています。この財源のためにも、スマイルの年間目標として 30 万円を掲げたいと思いますので、こちらもご協力をお願いします。

前期の主な例会は、パワー戦略ミーティングですが、こちらは改めて近藤委員長より説明がございましたので省略させていただきます。次に 10 月 16 日予定の気賀駅除草作業ですが、これは第 5 グループ合同で実施する奉仕事業として、花のリレープロジェクトをロータリー主導でやろうという今年度のガバナー方針に沿ったものです。

一応 11 月 13 日としてありますが、補助金事業として、子ども食堂を企画しております。

先週、安間小委員長が就任挨拶でも少し説明があったかと思います。A 型障がい者施設を通じて子ども食堂を開催するという、一石二鳥をねらった企画です。詳細は近日中に改めてご説明があるかと思います。

年が明けて 4 月 2 日に予定されているのがフラワーパーク訪問例会です。昨年記念事業として植えた桜の花をみんなで見に行こうと思い企画しました。家族で参加いただけるように日曜日としました。この時期は花見の時期でフラワーパークは朝から大変混むそうですが早朝例会ということで、開園前に特別に入れていただけます。ちょっぴり特別な気分でお楽しみいただければ幸いです。以上、簡単ですが説明させていただきました。

幹事報告

1. 配布物の確認 ※ レターケース内の物品はお持ち帰りください。

「ガバナー月信」 番外編

「ロータリー手帳」

2. ウクライナ避難民への支援金の募金

皆様のお陰で 65,000円 集まりました

ありがとうございました

3. 7～9月会費 … 自動振替の残高確認をお願いします



ご挨拶

●2022-2023 年度ガバナー補佐 坂田 茂様



私は浜西クラブの坂田茂です。1948年2月20日生まれ、ネズミ年。現在74.5歳です。雄踏町に生まれ、現在まで雄踏に住んでいます。（一時雄踏を離れましたが）まさに井の中の蛙大海を知らず、誠に無調法な男です。

ロータリー歴は1982年入会、本年7月で40年になり、職業分類は電気工事です。ロータリーは人生で3番目に長く続いています。実はこんなに長く続くとは思いませんでした。一番長いのが職業、2番目が結婚生活（昨年金婚式を迎える事が出来ました。）そして3番目がロータリー歴です。

なぜ、こんなに長く続けられたか、簡単です。気負わず、マイペースで参加したことです。ロータリーとの、関わりは35歳の時、仕事関係の方が、私の兄を誘いに来しました。兄は私に入会するように、そして、何の抵抗なく入会をしました。さて、例会に行って、年齢差に驚きました。今思えば若輩の私を育ててくれた、クラブの先輩の皆さんの影響は大変おおきかったと、思います。私の人間形成に役立ったとおもいます。そして、ガバナー補佐を、引き受けるにあたって、2つの事を理由に大変躊躇しました。

第1、知識、能力に乏しい、つまり浅学菲才、先ほど申し上げたとうり井の中の蛙であります。そして、第2は、長くロータリーをしてきたが、真剣に真面目に取り組んできたかと、問われますと、声高らかに、返事ができません。そんなことで、推薦から承諾までずいぶん時間が掛かりました。

誰かが言っていました、ロータリーは、ハイ。とYES。と喜んで、しかないんだと。そんなことを思い、とうとうハイと、返事をしました。しかし、引き受けた以上その、任務はしっかり務めてまいります。ガバナー補佐の任務について、少し勉強しました。ガバナー補佐の主な、任務は、グループ内のクラブ運営について、ガバナーを、援助することと思います。ガバナー方針のもと、ガバナーを支援し、各クラブの効果的運営、サポートを行いグループ内の事業の、円滑な、遂行、そして、各クラブ間の 連携、強化、融和、発展を目指し尽力するという事だとおもいます。ガバナー補佐として発信することは、ほとんどありません。もしあるとすればアイエムでしょう。つまり第五グループ、11クラブとガバナー間の調整役に努めその、ガバナー方針事業を確実に実行するために努力することです。それには、各クラブの皆さんの理解と協力が必要です。少しでも奥の深い、まさにイマジンを働かせ、活動をしていきたいと、思っています。最後に趣味ですが、麻雀です。週に1,2回40年来の友と楽しんでいます。これから各クラブの皆さんには、ガバナー訪問が、控えています。その前にガバナー補佐訪問として、貴重な時間を設けていただきありがとうございます。

R I 方針、2620 地区ガバナー方針について地区協等の伝達事項をします。これから『ガバナー公式訪問』を各

クラブさんに受けていただきます。その前に、本日、ガバナー補佐訪問として、貴重なお時間を設けていただきまして、感謝申し上げます。今年度の方針について、皆さんにお伝えさせていただきます。

本日は、今年度の大きな目標を明確にします。その大きな目標とは、R I のテーマです。ジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー会長からのテーマです。そのテーマをもとにして、地域の特性に合った活動目標こそが 2620 地区の地区戦略ビジョンです。第 5 グループの運営についての方針を伝達します。

① 『イマジン ロータリー』 今年度 RI 会長のジェニファー・ジョーンズの国際ロータリーのテーマです。意味としては、世界に起こる変化を想像しながら、大きな夢を描き、ロータリーが持っている力を活かすという考えです。

② その『起こる変化』とは、平和の推進、疾病との闘い、水と衛生、母子の教育、地域経済の発展、環境の保護、この 7 つの変化を意味します。

③ 『ロータリーが持っている力』です。

- ・ロータリアン一人ひとりが持っているもの
- ・熱意、情熱、経験、ノウハウ、技術、相手を思う心、資金
- ・ロータリアン同士のネットワーク、繋がり

とありますが、これは、個人の力であり、クラブ単位でもあり、第 5 グループ全体を意味します。

この力をもって、起こりうる変化を想像して、夢を実現していこうとおっしゃっています。これに取り組んでいくための具体的な課題が次の通りです。

① ロータリーにおける女性会員の割合を 3 割に

これは明確に数字が出ています。女性の考えが増えることによって、活動の幅が広がることが想像できます。期待値は高いものです。ジェニファー・ジョーンズさんも、女性初の国際ロータリー会長誕生となりましたから、特に力を入れられていることと思います。

② 適応と改革

シンプルなタイトルですから、理解し辛いことでもあります。会員がロータリー活動を通して、何を期待し、そして何がその人に果しえることができるか？その適応を考え、想像し、改革という結果を出していくことが、必要であると私は理解しています。会員自身にとって、自分がロータリー活動の中で、どのような役割を持たされているかを常に自覚し、継続させていくことこそが、会員増強・維持に繋がっていくことと考えます。

③ 変化を受け入れる：新しいクラブモデルの受入れ

新しい意見、多様な意見をもとに、改革的な体制を作り上げていく。特に女性の入会により、多様な意見が多く見込まれ、幅広いロータリー活動の展開が期待できると考えます。

以上の 3 点の課題をクリアしていきながら、世界がもたらす変化に対応し、皆さんが持っている力を発揮して、国際ロータリーが掲げる目標を達成していこうと、ここに明確にしておきます。

この大きな目標に対して、2620 地区としては、浅原ガバナーが次のようにおっしゃっています。『絆を深め、ロータリー活動を再開しよう』これが今年度の地区方針です。アフターコロナが現実視されてきている今年度にとって、クラブ活動再開には大きなチャンスであります。今一度、懇親会など、親睦を深め、絆を深め、大いに活動を

2022-23年度 RI会長テーマ



IMAGINE
ROTARY

ジェニファー・ジョーンズRI会長エレクト
(カナダ、オンタリオ州)
ウインザー・ローズランドRC所属



世界にもたらす変化とは

・世界にもたらす変化とは、ロータリーが取り組んでいる 7つの重点分野における成果に他なりません

- ①平和の推進 ②疾病との闘い ③水と衛生
- ④母子の教育 ⑤教育の充実 ⑥地域経済の発展
- ⑦環境の保護



盛り上げていきたいとの考えです。ロータリー活動の根源である奉仕活動を再開させたい。公共イメージを強化して、ロータリーブランドを高めたい。そのための活動に対し、支援したい。これが 2620 地区の方針です。今年度、新たにグループの活動方針として、生まれてきましたのが、『グループ毎奉仕活動事業』というものがあります。これにつきましては、RI 第 2620 地区 8 グループ毎の合同奉仕事業であります。寄付行為でなく、参加ロータリアンの実活動を伴うこととであります。

我々第 5 グループとしても『天浜線人と時代をつなぐ花のリレープロジェクト』と題し、この 7 月より各クラブごとに対応していただきます。各クラブの日程もほぼ事業計画として盛り込まれました。一人ひとりの奉仕の精神を、地域社会への貢献へとつなげるチャンスでもあります。これを確実に推進して、11 月の地区大会には、大きな成果として発表し、内外にもアピールしていきたいと思います。

また、私の方針としては、この 2620 地区の『絆を深め、ロータリー活動を再開しよう』という方針をもとに、第 5 グループ内において、各クラブの活動を活発化させるために、多くの情報を共有しようと考えています。各クラブの個性は、様々です。同じ地区であり、同じグループ内であっても、また、すぐ隣にいるようなクラブであっても様々です。各クラブの活動を知ることにより、自身のクラブでも応用してみることは大いに結構なことだと考えます。

- ・臨時の合同例会、合同奉仕事業をすること良いでしょう。
- ・未来に向けた、姉妹クラブの締結を話し合うことも良いでしょう。
- ・11RC 親睦ゴルフコンペ以外にも、様々な同好会を結束してグループ全体に働きかけることも良いでしょう。

今年度の会長幹事会は、できるだけ多くのアイデアを収集して、それを各クラブへ持ち帰っていただき、そしてクラブの中の活性化に繋がるような意見交換の場を設けています。是非、会員の皆さんから、会長、幹事さんへ意見を伝えてください。また、多くのクラブのいろんなアイデアを、会長、幹事さんから聞いてください。一人一人の役割、そしてこの場においての使命感も必ず湧いてくることだと思います。我々、第 5 グループの活動支援として、方針伝達とさせていただきます。

●ガバナー補佐事務局長 上田 昌宏様



今年度ガバナー補佐事務局長を務めさせていただきます浜松西 RC 上田昌宏です。ガバナー補佐のサポートをさせていただきます。『グループ毎社会 奉仕事業』として、『天浜線人と時代をつなぐ花のリレープロジェクト』について 詳細をご連絡いたします。

実施日は、各クラブさんをお願いしています。メンバーの構成として、各クラブ会員数の 20%以上の参加人数で構成。

実施箇所は、例年行われている金指駅にて対応をお願いします。準備していただくものは、各クラブにて対応をお願いしています。カマ、軍手、ゴミ袋など、あと特にこの暑い時期でありますので、熱中症対策など十分に備えていただきたいと思います。※活動資金、広報活動、連絡事項の詳細などにつきましては、割愛します。

この『グループ毎 奉仕活動』について、寄付行為でなく、参加ロータリアンの実活動を伴うことでお願いしています。今年度の地区方針でも ありますように『絆を深め、ロータリー活動を再開しよう』をもとに、活動を通じて、親睦を深め、絆を深めて、従来のロータリー活動を復活させたいと考えています。

2 点目、『ウクライナ支援』です。昨年度は、地区より支援金活動の依頼があったと思います。各クラブでも対応していただいたことと思います。今後ウクライナ支援では、復興活動の支援金を考えたいですが、現在その終息が

みえない状況です。しかし現実、日々避難民の数が増している状況下です。この状況を見過ごすわけにはいかないと考えています。身近なところから、支援していこうと思い、現在は、浜松市の国際課から避難民の情報をいただいています。ここから、始めていこうとの考えで発足しました。

4月より、若い女性の方が市内の知り合いを通じて、現在、浜松市より支援を受けながら生活をされています。しかし、ここ数日の間に、3名の方が、新たに避難生活を始められているそうです。現在、浜松市としても、ひっ迫している状況でないにしても、今後避難民の数が増していく、また、支援期間が長引けば、現在の支援制度も見直さざるを得ない状況であるとおっしゃっています。そちらへの準備資金として、第5グループとしては、支援金を集め、浜松市へ贈りたいと考えています。

是非、各クラブさんの熱い想いを、身近で困っている方へ、お届けしたいと考えていますので、どうぞ、よろしくお願い致します。

今年度地区のスローガンは『絆を深め、ロータリー活動を再開しよう』とありますように、一つ一つの事業計画をこなし、会員同士の親睦を深めて、絆を深めて、従来のロータリー活動を復活させたいと思います。

我々事務局が、会長、幹事をサポートしていくことが、パワー浜松ロータリークラブの活発化へと繋がります。坂田ガバナー補佐と竹村次長と三人で頑張っていきます。一年間、よろしくお願い致します。

議事

●就任挨拶



(上段) 副幹事総務 鈴木一広、社会奉仕部会長 廣瀬隼人、国際奉仕部会長 華岡博之、青少年育成部会長 寺田洋平

(下段) 青少年交換小委員会 委員 リビー・ジョーセフ・マテュー

ロータリープログラム委員会(青少年奉仕) 委員長/地区危機管理委員会 委員/学友委員会 委員 小澤邦比呂
学友委員会 委員/米山記念奨学委員会 副委員長 村田 誠



●パワー戦略ミーティングについて 担当/長期戦略計画・会員選考委員会

▼ パワー戦略ミーティング

目的 社会の中で問題となっている事象に対して、パワー浜松
ロータリークラブとして何ができるのかを検討する。

運営 ・9つのグループ分けをしてそのグループでミーティング
・グループごとにそれぞれのテーマで議論
・例会で3回、懇親会で1回開催し一定の結論を得る
・懇親会に18万円の予算をつける(1グループ2万円)
・2回の例会でグループごとに発表を行う

▼ スケジュール

7月12日	会員へのグループ分けの案内
7月26日	グループ分け決定(理事会)
8月2日	第1回パワー戦略ミーティング(例会)
9月27日	第2回パワー戦略ミーティング(例会)
10月～11月	グループ親睦会
11月8日	第3回パワー戦略ミーティング(例会)
11月29日、12月6日	パワー戦略ミーティング発表(例会)

▼ パワー戦略ミーティングの進行

第1回 8月2日	テーマに対する論点の整理 論点に対する問題点の抽出
第2回 9月27日	問題点に対する解決・改善案
親睦会 10月～11月	フリーディスカッション (クラブとして何ができるか?)
第3回 11月8日	プレゼンのためのとりまとめ